

自主的避難等対象区域（川俣町）から福島県外に避難したものの、すぐに申立人父のみが帰還した申立人ら（父母、成年の子1名、未成年の子2名及び未成年の孫1名）について、申立人子のうちの1名の就労不能損害が賠償されたほか、平成27年3月までの生活費増加費用（二重生活費増加分等）、避難費用（面会交通費、一時立入費用）、避難雑費等が賠償された事例。

和解契約書（全部和解）

原子力損害賠償紛争解決センター令和〇年（東）第〇号事件（以下「本件」という。）につき、申立人X1、同X2、同X3、同X4、同X5、同X6（以下「申立人ら」という。）と被申立人東京電力ホールディングス株式会社（以下「被申立人」という。）は、次のとおり和解する。

第1 和解の範囲

申立人らと被申立人は、本件に関し、下記の損害項目（下記の期間に限る。）について和解することとし、それ以外の点については、本和解の効力は及ばないことを相互に確認する。

記

1 損害項目

（1）平成23年分

- ア 精神的損害
- イ 生活費増加費用及び移動費用
- ウ 就労不能損害（申立人X3）

（2）平成24年分～平成27年分

- ア 避難費用（面会交通費・一時立入費用）
- イ 生活費増加費用（二重生活に基づく生活費増加分）
- ウ 避難雑費

（3）本件和解仲介に関する弁護士費用

2 期間

（1）第1項1（1）について

自 平成23年3月11日
至 平成23年12月31日

（2）第1項1（2）について

自 平成24年1月1日
至 平成27年3月31日

第2 和解金額

被申立人は、前項の損害項目及び期間についての和解金として、申立人らに対し、金5,131,149円の支払義務があることを認める。

（内訳）

(1) 平成23年分	
ア 精神的損害	960,000円
イ 生活費増加費用及び移動費用	560,000円
ウ 就労不能損害(申立人X3)	161,458円
(2) 平成24年分～平成27年分	
ア 避難費用(面会交通費・一時立入費用)	654,240円
イ 生活費増加費用(二重生活に基づく生活費増加分)	1,170,000円
ウ 避難雑費	1,476,000円
(3) 本件和解仲介に関する弁護士費用	149,451円

第3 既払金

申立人ら及び被申立人は、被申立人が申立人らに対し、第2記載の金員のうち、金1,520,000円を支払済みであることを確認する。

第4 支払方法

(省略)

第5 手続費用

本件に関する手続費用は、各自の負担とする。

第6 清算

申立人らと被申立人は、第1項記載の損害項目(同項記載の期間に限る。)について、以下の点を相互に確認する。

- ア 本和解に定める金額を超える部分につき、本和解の効力が及ばず、申立人らが被申立人に対して別途損害賠償請求することを妨げない。ただし、本件和解仲介に関する弁護士費用については、本和解に定めるもののほか、当事者間に何らの債権債務がない。
- イ 本和解に定める金額に係る遅延損害金につき、申立人らは被申立人に対して別途請求しない。

本和解の成立を証するため、本和解契約書を2通作成し、申立人ら及び被申立人が署名(記名)・押印の上、申立人らと被申立人がそれぞれ1通を保有するものとする。また、被申立人は、本和解契約書の写し1通を、原子力損害賠償紛争解決センターに交付する。

令和4年3月8日

(仲介委員 大西 英敏)